

◎昭和46年度第9回理事会議事録(47.2.25)出席者:高野会長,石川,奥村,河上,篠原の各副会長,下村専務理事,浅間,荒木,岩垣,小山内,尾崎,岡田,後藤(尚),鈴木,長谷川,半谷,細井の各理事,柳瀬,横田の各監事。議事録署名議事理事の決定:高野会長,下村専務理事,鈴木理事。A. 報告事項:1) 会計報告;下村専務理事から概略説明があり了承。2) 刊行物頒布報告。3) 各種委員会その他報告;下村専務理事から概略説明があり了承。4) 第58回通常総会行事について報告;去る昭和47年1月28日(金)に開催された第8回理事会において決定された「第58回通常総会予定事項について」のうち,会長に一任された事項について,下村専務理事から,次のとおり決定した旨の報告があり了承。

特別講演者:長浜正雄
同 演題:超高速鉄道

——第2東海道新幹線——

映画上映:行なわない。
土木学会賞受賞者祝賀会:懇親会とあわせて行なう。

B. 協議事項:1) 名誉会員推薦内規の検討について;下村専務理事から,名誉会員の推薦制度および昭和45年度第11回理事会における審議概要(要旨;とりあえず内規の運用を厳正にし,内規の改正は昭和46年度理事会で検討願う)について説明があり,種々論議されたが,問題は内規ではなく運用であるとの意見が多く,結論としては,本年度の推薦はとりあえず現行内規で行ない,内規の改正はさらに検討することに決定。2) その他;①会務担当(合同)理事会の開催について,②定例第1回評議員会の開催について,の2点につき,下村専務理事から,昭和47年度事業計画案および予算案の審議,決定のために,次回(第10回)理事会前の3月10日(金)に会務担当(合同)理事会を,さらに理事会後の3月30日(木)に定例第1回評議員会を開催したい旨の提案があり,異議なく決定。③役員選考委員会の開催について;下村専務理事から,昭和46年度で任期満了となる役員の後任の選考のために,3月13日(月)に役員選考委員会を開催したい旨の提案があり,異議なく決定。なお,理事会からの出席者は,会長,副会長のほか,慣例による各界代表として小山内,吉川,三浦,半谷の各理

事が指名された。④会員入退会について;下村専務理事から説明があり,異議なく承認。⑤次の理事会について。⑥その他。3) 委員の委嘱について

- ① 構造工学委員会
委員 西亀 達夫 国鉄
- ② 本州四国連絡橋鋼上部構造研究小委員会
委員 藤原 稔 建設省
- ③ 昭和46年度河北潟干拓河口工事研究委員会
委員長 福田 仁志
委員 本間 仁 東洋大学
岩垣 雄一 京都大学
堀川 清司 東京大学
鶴岡 鶴吉 鶴岡研究所
山田伴次郎 宇都宮大学
田村徳一郎 明治大学
幹事 湯川 勝太 農林省
佐々木欣一 同
増本 新 同
駒村 三義 同
村田 定彦 同
上岡 肇 同
村崎 省三 同
酒井 俊夫 同
幹事補佐 中村 充 同
堀井 健次 同
幹事補佐 木下 昌之 同
岩崎 豊 同
鈴木 信義 同
渡辺 正雄 同
- ④ 安全問題研究委員会
委員 本郷 文男 東京都
幹事 桜井 卓 東京電力
和田 一郎 帝都高速度交通
営団
山口 靖之 東京ガス
- ⑤ 昭和46年度表彰委員会
幹事 大石 理 国鉄
- ⑥ 昭和46年度論文賞選考委員会
幹事 池田 尚治 東京都立大学
足立 義雄 建設省
越 正毅 東京大学
- ⑦ 岩盤力学委員会
委員 大野 勝次 農林省
- ⑧ 沈埋トンネル耐震設計研究委員会
委員兼幹事 長井 敏則 建設省
山下生比古 運輸省
岡田 郁生 首都高速度路公
団
- ⑨ 原子力土木委員会
委員 鈴紀 喜久 中国電力
- ⑩ 原子力土木委員会コンクリート部会
委員 長谷川幸雄 中部電力
- ⑪ 海洋構造物に関する調査研究委員会
委員 山川 朝生 建設省
佐竹 優 三菱重工業
大谷 博包 運輸省

◎各種委員会

(1) 文献調査委員会(47.1.10)出席者:小林委員長,ほか5名。議事:1) 誌57巻3号登載抄録について。2) 紹介記事について。3) 解説記事について。4) その他。

(2) 耐震工学委員会打合せ(47.1.11)出席者:関係者8名。議事:構造物の地震応答解析と实例(出版物)の第9

章橋梁関係の検討と編集。

(3) 本州四国連絡橋耐震研究小委員会第1グループ打合せ(第6回)(47.1.11)出席者:久保委員長,ほか19名。議事:1) 講演「強震時における地盤内のひずみ推定について」/京都大学 土岐憲三氏 2) 近地地震の調査の進捗状況について。3) 講演「地表層の振動」/東京大学 嶋悦三氏(代理伯野元彦氏)

(4) 沈埋トンネル耐震設計研究委員会幹事会(47.1.12)出席者:岡本委員長,田村幹事長,ほか15名。議事:沈埋トンネル耐震設計研究調査報告書原案審議。

(5) 行事企画委員会幹事会(47.1.13)出席者:森委員長,嶋副委員長,ほか2名。議事:1) 昭和47年度夏期講習会について。2) 年次学術講演会について。3) 応用力学連合講演会について。

(6) 土木建造物の取替標準に関する研究委員会コンクリート構造分科会(47.1.13)出席者:関係者11名。議事:コンクリート構造関係の検討。

(7) 水理委員会編集小委員会(47.1.13)出席者:安芸委員長,ほか2名。議事:昭和46年度水理学研究の現況の校正を行なった。

(8) 海外工事契約仕様書研究会(47.1.14)出席者:吉越主査,赤木副主査,ほか18名。議事:第6章の検討を行なった。

(9) 本州四国連絡橋耐風研究小委員会第8回幹事会(47.1.14)出席者:大久保委員長,ほか8名。議事:1) 耐風実験橋について。2) 耐風設計基準について。

(10) 第2回原子力コンクリート部会P C原子炉構造物設計施工指針分科会(47.1.17)出席者:関係者11名。議事:プレストレストコンクリート原子炉構造物(圧力容器,格納容器)設計施工要領集の検討。

(11) 耐震工学委員会第2回委員会(47.1.18)出席者:岡本委員長,久保副委員長,ほか11名。議事:1) 常任委員会経過報告。2) 本州四国連絡橋耐震研究小委員会について。3) IAEEについて。4) 構造物の地震応答解析と实例(出版物)について。5) 昭和46年度土木学会賞候補の推薦について。6) 第12回地震工学研究発表会開催について。7) 強震計設置推進連絡会議について。

(12) 視聴覚教育委員会(47.1.18)出席者:丸安委員長,綾幹事長,ほか10名。議事:1) 第5回映画コンクールについて。2) スライド製作について。3)

視聴覚教育アンケートについて。

(13) 環境問題小委員会大気分科会 (47.1.19) 出席者：関係者 5 名。議事：大気分科会の運営について。

(14) 原子力土木委員会廃棄物部会 (47.1.19) 出席者：左合部会長，ほか 16 名。議事：1) 京都大学原子炉実験所および井上頼輝氏へ委託研究の件確認。2) 講演：日本原子力研究所東海研究所燃料工学部長 石原健彦氏，東京電力原子力部原子力計画課長 住谷 寛氏。

(15) 論文集編集委員会第 1 小委員会 (47.1.19) 出席者：伊藤主査，ほか 9 名。議事：1) 前回小委員会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿について。4) 主査幹事報告。5) その他。

(16) 学会誌編集委員会書評小委員会 (47.1.19) 出席者：堀江委員長，ほか 9 名。議事：1) 経過報告。2) 受付図書審査。3) その他。

(17) 岩盤力学委員会第 3 回研究会 (47.1.20) 出席者：関係者 26 名。議事：講演—1：平戸架橋における基礎岩盤／長崎県土木部道路課 犬東洋志氏。講演—2：原子力発電所の基礎岩盤の力学的検討の現状と今後の問題点／電力中央研究所 林 正夫委員。

(18) “土木技術者のための岩盤力学”改訂小委員会特別幹事会 (47.1.20) 出席者：関係者 9 名。議事：1) 各章改訂原案の検討。2) 今後の作業予定。

(19) 土木建造物の取替標準に関する研究委員会トンネル分科会 (第 3 回) (47.1.20) 出席者：関係者 11 名。議事：変状の分類と今後の方針 (主に審議を主題とした)。

(20) 論文集編集委員会第 5 小委員会 (47.1.20) 出席者：岩間主査，ほか 7 名。議事：1) 前回小委員会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿について。4) 主査幹事報告。5) その他。

(21) 耐震工学委員会編集小委員会 (第 2 回) (47.1.21) 出席者：久保委員長，ほか 6 名。議事：構造物の地震応答解析と実例 (出版物) につき検討。

(22) 本州四国連絡橋耐震研究小委員会第 1 グループ打合せ (第 7 回) (47.1.21) 出席者：関係者 12 名。議事：近地地震の調査データの検討。

(23) 本州四国連絡橋耐震研究小委員会第 4 回委員会 (47.1.21) 出席者：久保委員長，ほか 25 名。議事：1) 各グループ活動経過報告および討議。2) 今後の作業予定。

(24) 本州四国連絡橋耐風研究小委員会第 5 回委員会 (47.1.21) 出席者：大久

保委員長，ほか 13 名。議事：1) 耐風実験橋について。2) 耐風設計基準について。3) 文献紹介。

(25) 論文集編集委員会第 3 小委員会 (47.1.21) 出席者：1) 久野主査，ほか 5 名。議事：1) 前回小委員会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿について。4) 主査幹事報告。5) その他。

(26) 耐震工学委員会打合せ (47.1.22) 出席者：岡本委員長，久保副委員長，ほか 2 名。議事：サンフェルナンド地震に関する英文論文提出ならびに原稿の検討。

(27) 本州四国連絡橋鋼上部構造研究小委員会疲労分科会 (第 2 回) (47.1.24) 出席者：関係者 8 名。議事：疲労データの検討，その他。

(28) 海洋構造物に関する調査研究委員会第 2 分科会 (第 2 回) (47.1.24) 出席者：吉田主査，ほか 4 名。議事：海洋鋼構造物設計指針 (案) の検討。

(29) 海洋構造物に関する調査研究委員会第 1 分科会 (第 2 回) (47.1.24) 出席者：村上委員長，堀川主査，ほか 9 名。議事：海洋鋼構造物設計指針 (案) の検討。

(30) 海洋構造物に関する調査研究委員会第 3 分科会 (第 2 回) (47.1.24) 出席者：村上委員長，ほか 5 名。議事：海洋鋼構造物設計指針 (案) の検討。

(31) 第 2 回土木学会創立 60 周年記念事業委員会 (47.1.24) 出席者：高野委員長，柳沢顧問，ほか 16 名。議事：1) 委員会構成。2) 委員会組織。3) 第 1 回委員会議事録。4) 記念出版物一覧。5) 50 周年記念事業概要。

(32) 海外活動委員会幹事会 (47.1.23) 出席者：太田尾委員長，吉越副委員長，赤木幹事長，ほか 3 名。議事：1) 前回委員会報告。2) Civil Engineering in Japan, 1972 年版について。

(33) 終局強度設計小委員会幹事会 (47.1.25) 出席者：河野副委員長，ほか 12 名。議事：1) 終局強度設計方法小委員会報告書のとりまとめについて。2) 終局強度設計法による鉄筋コンクリート構造設計計算の指針について。

(34) 岩盤力学委員会第 3 分科会 (第 13 回) (47.1.25) 出席者：石原主査，ほか 7 名。議事：1) 現地岩盤試験資料について。2) 岩盤試験法の基準化の件。

(35) 土木計画学研究委員会打合せ (47.1.25) 出席者：米谷委員長，八十島副委員長，長尾幹事長，ほか 6 名。議事：1) 経過報告。2) 計画学シリーズ出版の件。3) 本委員会への提出議題の件；

①講習会の件，②第 7 回シンポジウムの件，③全国大会における計画部門の話題の件，④出版の件，⑤委員会人事の件，⑥高校土木教育委員会からの依頼の件，⑦その他。4) 次回シンポジウムの件。5) 全国大会の件。

(36) 海岸工学委員会在京幹事会 (47.1.25) 出席者：堀川幹事長，ほか 6 名。議事：第 19 回海岸工学講演会開催について。2) 水理委員会依頼 “第 8 回水工学夏期研修会 B コース” テーマ講師選定について。

(37) 鋼構造委員会 (47.1.25) 出席者：関係者 17 名。議事：1) 鋼構造委員会の内規について。2) 委員会の進め方について (小委員会の運営)。3) IABSE のアムステルダム会議について。

(38) 大学土木教育委員会幹事会 (47.1.26) 出席者：奥村委員長，山口幹事長，ほか 7 名。議事：大学土木教育に関するアンケート集計結果の検討。

(39) 構造工学委員会 (47.1.26) 出席者：平井委員長，ほか 20 名。議事：1) 委員会の進め方について (小委員会の設置本委員会の運営方法など)。2) IABSE のアムステルダム会議について。

(40) 土木計画学研究委員会 (47.1.26) 出席者：米谷委員長，八十島副委員長，長尾幹事長，ほか 24 名。議事：1) 経過報告。2) 第 6 回シンポジウムの反省と第 7～8 回シンポジウム実施の件。3) 第 5 回土木計画学講習会の件。4) 全国大会特別討論会の件。5) 計画学シリーズ，ハンドブック等出版の件。6) 委員会人事の件。7) 高校土木教育委員会への講師派遣協力協力の件。8) 第 6 回シンポジウム，プロシーディングス編集の件。9) その他。

(41) 論文集編集委員会第 4 小委員会 (47.1.26) 出席者：新谷主査，ほか 6 名。議事：1) 前回小委員会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿について。4) 主査幹事報告。5) その他。

(42) 第 12 回原子力耐震部会 (47.1.27) 出席者：岡本部会長，ほか 13 名。議事：1) 取放水路の耐震設計アンケートの提出と説明。2) 鹿島地点砂地盤の弾性波試験結果について。3) 第 1 回動的計算結果の説明 (八千代エンジニアリング)。4) その他。

(43) 岩の力学研究連合委員会第 3 回委員会 (47.1.27) 出席者：岡本委員長，ほか 7 名。議事：1) 経過報告。2) 国際岩の力学会 (ISRM) について；④ ISRM シンポジウム (1971 年 10 月，Nancy) 報告，② 外国との連絡事項。3) 岩の力

学講演会報告。4) 委員、幹事の交代について。5) 岩の力学に関する各学会の活動状況について。

(44) **プレストレストコンクリート杭設計施工指針小委員会施工分科会** (47.1.27) 出席者: 鈴木主査, ほか 12 名。議事: プレストレストコンクリート杭設計施工指針施工編の逐条審議を行なった。

(45) **沈埋トンネル耐震設計研究委員会主査幹事会** (47.1.27) 出席者: 田村, 栗林, 土田の各主査, ほか 7 名。議事: 沈埋トンネル耐震設計研究調査報告書作成について。

(46) **衛生工学委員会幹事会** (47.1.28) 出席者: 左合委員長, ほか 4 名。議事: 研究討論会の運営につき打合せた。

(47) **衛生工学委員会打合せ** (47.1.28) 出席者: 関係者 7 名。議事: 水の高度利用につき打合せを行なった。

(48) **論文集編集委員会第 2 小委員会** (47.1.28) 出席者: 室田主査, ほか 9 名。議事: 1) 前回小委員会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿について。4) 主査幹事会報告。5) その他。

(49) **論文集編集委員会主査幹事会および理事打合せ** (47.1.28) 出席者: 理事会側; 井上, 後藤理事, 下村専務理事, 委員会側: 前田委員長, 久野副委員長, 伊藤, 室田, 新谷, 岩間の各主査, ほか 4 名。議事: 理事打合せ: 論文報告集の当面している問題点について話し合いが行われた。主査幹事会: 1) 前回議事録の確認。2) 各小委員会報告。3) 論文報告集 200 号登載原稿について。4) 土木賞候補論文の推薦について。5) 60 周年記念出版物について。6) その他。

(50) **衛生工学委員会** (47.1.29) 出席者: 左合委員長, ほか 13 名。議事: 1) 研究討論会について。2) 委員会開催回数について。3) 全国大会のテーマについて。4) 各小委員会報告。

(51) **環境問題小委員会** (47.1.29) 出席者: 松本委員長, 南部副委員長, ほか 11 名。議事: 各分科会の活動報告。

(52) **原子力土木委員会コンクリート部会** (47.1.31) 出席者: 関係者 7 名。議事: 1) 資料の概略説明 (青柳委員)。2) PC 原子炉構造物, 压力容器, 格納容器設計施工要領案の作成。

(53) **安全問題研究委員会第 7 回幹事会** (47.2.1) 出席者: 関係者 7 名。議事: 委員会の今後運営推進について。

(54) **本州四国連絡橋耐風研究小委員会実験橋作業分科会 (第 4 回)** (47.2.1.) 出席者: 岡内主査, ほか 10 名。議事:

耐風実験橋について。

(55) **学会誌編集小委員会** (47.2.1) 出席者: 1) 千秋委員長, 服部幹事長, ほか 7 名。議事: 1) 経過報告。2) 受付論文査読。3) 学会誌 57 巻 5 号編集作業実施。4) 構造物シリーズの収載予定。

(56) **岩盤力学委員会第 1 分科会グラウト班幹事会** (47.2.2) 出席者: 広瀬主査, ほか 4 名。議事: ダム基礎岩盤のグラウティング施工指針 (案) について。

(57) **本州四国連絡橋耐風研究小委員会第 9 回幹事会** (47.2.2) 出席者: 大久保委員長, ほか 6 名。議事: 1) 耐風実験橋について。2) 耐風設計基準について。

(58) **土木建造物の取替標準に関する研究委員会基礎土構造分科会 (第 2 回)** (47.2.3) 出席者: 関係者 10 名。議事: 基礎土構造に関する検討。

(59) **文献調査委員会** (47.2.3) 出席者: 小林委員長, ほか 4 名。議事: 1) 会誌 57 巻 4 号登載抄録について。2) 紹介記事について。3) 解説記事について。

(60) **海外工事契約仕様書研究会** (47.2.4) 出席者: 関係者 20 名。議事: 第 7 章の検討を行なった。

(61) **本州四国連絡橋鋼上部構造研究小委員会解析分科会 (第 2 回)** (47.2.4) 出席者: 大地主査, ほか 17 名。議事: 1) 対傾構について。2) 吊橋のねじり解析について。

(62) **本州四国連絡橋鋼上部構造研究小委員会疲労分科会 (第 3 回)** (47.2.5) 出席者: 奥村委員長, ほか 8 名。議事: 疲労試験に関する検討。

(63) **青函トンネル土圧研究委員会土圧小委員会 (第 5 回)** (47.2.9) 出席者: 岡本委員長, ほか 15 名。議事: 1) 青函トンネル破砕帯における試験坑の計画について。2) トンネル土圧の解析について。3) 昭和 46 年度報告書 (案) について。

(64) **本州四国連絡橋耐風研究小委員会第 10 回幹事会** (47.2.9) 出席者: 大久保委員長, ほか 9 名。議事: 1) 耐風実験橋について。2) 耐風設計基準について。

(65) **土構造物の設計標準に関する研究委員会第 1 回幹事会** (47.2.10) 出席者: 関係者 14 名。議事: 坑土圧構造物第 2 章土留擁壁の原案の審議。

(66) **本州四国連絡橋鋼上部構造研究小委員会座屈分科会 (第 5 回)** (47.2.10) 出席者: 関係者 10 名。議事: 座屈に関する検討。

(67) **水理委員会在京幹事会** (47.2.

10) 出席者: 関係者 4 名。議事: 第 8 回水工学夏期研修会について。

(68) **土木建造物の取替標準に関する研究委員会斜面およびのり面分科会 (第 3 回)** (47.2.10) 出席者: 関係者 10 名。議事: 斜面およびのり面に関する検討。

◎その他

(1) **第 6 回土木計画学シンポジウム** (47.1.25~26)

場所: 土木図書館講堂

出席者: 130 名

議事: 第 5 回土木計画学シンポジウムに引続いて土木計画の評価 (その 2) を実施した

支 部 だ よ り

◎東北支部

(1) **第 8 回昼食会** (47.2.15, 支部事務局) 出席者: 原田顧問, ほか 7 名。講演: スラッジの処分について / 東北大学教授 松本順一郎氏。

(2) **技術講座** (47.2.17, 岩手教育会館)

題目と講師:

積雪地の道路構造について

建設省福島工事事務所長 大島 一男

吹付コンクリート工学とその応用

開発工事 (株) 土木部長 岩瀬 面

映 画: 北上川, 東名高速道路

参加者: 250 名

(3) **技術研究発表会** (47.2.22, 宮城県民会館)

参加者: 200 名

発表数: 70 編 (本誌 57 巻 1 号 145~146 ページ参照)

(4) **全国大会執行方針打合せ** (47.2.23, 支部事務局) 出席者: 浅間幹事長, ほか 5 名。議事: 全国大会今後のあり方について。

(5) **第 2 回商議員会** (47.3.9, クローバー) 出席者: 浅間幹事長, ほか 24 名。議事: 1) 支部人事の推薦について。2) 本部人事の推薦について, その他。

◎関西支部

(1) **海外事情ならびに今後の海外活動に関する講演会** (47.1.18, 好文俱樂部)

題目と講師:

1. 海外活動に関する諸問題について

日本貿易振興会大阪本部調査部長

小西 猛

2. アジアにおける技術者の海外活動について—ブータン・ネパールを旅して—

名古屋大学助教授工学部

工博 松尾 稔

3. ヨーロッパ、東南アジア、日本の
人間と技術

中央復建コンサルタンツ(株)

第一設計部 工修 内藤 隆

参加者: 60 名

(2) 会員懇親会(47.1.18, 好文倶
楽部)

参加者: 40 名(内招待関係 17 名)

参加費: 1 000 円

(3) 構造物・施設の調査に関する研
究会

(第3回) 土構造物の調査に関する研
究会(47.1.26, 大阪科学技術センター)

主 催: 土木学会関西支部

協 賛: 土質工学会関西支部

題目と講師:

1. 法面の健全度診断

国鉄鉄道技術研究所研究管理室

主任研究員 農博 小橋 澄治

2. 地すべりの運動タイプと対策方法

建設省土木研究所砂防部急傾斜地崩壊

研究室長 渡 正亮

3. マサ土斜面崩壊予測とその対策

関西大学助教授工学部 工博 西田 一彦

討議 司会:

神戸大学助教授工学部

工博 田中 茂

(4) 山陽新幹線・水島地区見学会

(47.2.3~4)

参加者: 172 名

共 催: 土木学会関西支部・土質工学
会関西支部

見学先: 国鉄山陽新幹線試乗・川崎製
鉄水島製鉄所

参加者: 第1回(47.2.3) 52 名

(内招待2名)

第2回(47.2.4) 50 名

(5) 材料科学シンポジウム「最近の
材料における複合効果の理論」(47.2.7~
8, 大阪科学技術センター)

主 催: 日本材料学会関西支部

協 賛: 土木学会関西支部, ほか 12
学協会

題 目: 6 題, 討議

参加者: 85 名

参加費: 業界 3 000 円, 学界 2 000 円,

学生 1 000 円

(6) 企画担当幹事会(第5回)(47.
2.9, 土木学会関西支部) 出席者: 田中
支部長, 後藤幹事長, ほか 10 名。

(7) 計画・庶務・会計担当幹事会
(第2回)(47.2.9, 土木学会関西支部)
出席者: 田中支部長, 後藤幹事長, ほか
18 名。

(8) 財政に関する打合せ(47.1.29,
土木学会関西支部) 出席者: 関係者 14 名。

(9) 事務所運営委員会(第6回)
(47.1.27, 土木学会関西支部) 出席者:
土木学会, 土質工学会より関係者 5 名。

(10) 支部に関する懇談会(47.1.27,
好文倶楽部) 出席者: 米谷, 野瀬, 福山
の元支部長, 伊藤, 岡田の元幹事長, 足
立理事, 田中支部長, 後藤幹事長, ほか
6 名。

(11) 第68回騒音振動委員会(47.
2.8, 土木学会関西支部) 出席者: 関係
者 7 名。

(12) 騒音振動委員会幹事会(第65
回)(47.2.8, 土木学会関西支部) 出席
者: 関係者 3 名。

編 集
後 記

●——新井雅美・記

土木技術の発展の過程を振り返って
みると、大別して、3つの要素に
わけて考えることができるといま
す。すなわち、第一点は、理論的な
面での発展があります。各種の学問
的実験研究が集められ、これまでに
解明されなかったいろいろな問題が
解き明かされるようになりました。

第二点は、土木の分野で使用され
る材料の進歩です。なかでも鋼材が
木材にとってかわって大量に使用さ
れるようになり、その品質も非常に
向上してきていることは、いろい
ろな面で土木技術の進歩に寄与す
るところが大きいと思います。また、
そのほかにも、人工骨材の発達、化学
製品の活用など、この面の進歩もか
なり大きいといえます。

第三点は、施工技術の進歩があげ
られます。従来の人力施工が大幅に
機械化施工にかわってきたこと、ま

た各種の新しい施工方法が工夫さ
れ、これまで施工できなかったもの
までも容易に施工できるようにな
ったり、また、施工のスピードが非常
にはよくなってきたことなど、この
面での進歩は特に著しいものがあり
ます。

こうした3つの要素が、バランス
よくかみ合って発展を続けてきた土
木技術であります。最近になっ
て、これまではとくに考えられな
かったさまざまな問題が大きくクロー
ズアップされてきました。すなわち
公害問題、環境保全の問題、安全問
題、そして労働問題等々であります。
これら土木技術の周辺をとりま
く諸問題は、これからの土木技術の
発展を考える上で忘れることのでき
ない大問題となることは間違いあり
ません。公害問題、環境保全の問題
等、これまでは公共事業という名
のもとに、ともすればかわわれ土木技
術者自身もおろそかにし勝ちであ
ったことは事実です。しかし、それで

はこれからの世の中には適用しま
すまい。いまやこの問題は、国連の舞
台でも全世界共通の問題として大き
く取り上げられようとしているほど
です。

土木工事といえば、従来、少なく
とも人間の生活環境を良くするため
に行なわれるものであったはずで
す。それが昨今では、生活環境を破
壊するものとして、とかく目のかた
きにされがちです。われわれ土木技
術者は、こうした現実を冷静に受け
とめ、単に環境を保全するためにと
いう消極的な解決策を考えるだけ
にとどまらず、積極的に環境を創造
するような土木技術を確立すべく努
力すべきでしょう。

今月号では、こうした社会的背景
から、土木技術周辺の諸問題につ
いて特集をくんでみましたが、これ
からの土木技術の発展を考えるう
えで、いくらかでも参考になれば幸
いと編集者一同願っております。